京都府 報道発表資料

府政記者室、中丹・丹後広域振興局、教育記者クラブ　同時資料配付

令和８年５月 29 日

「丹後天橋立ミュージアム」、始動！
～府立丹後郷土資料館の新たな愛称・ロゴを決定～

■京都府と京都府教育委員会では、丹後の歴史・文化の探訪と観光の拠点となる「ミュージアム」を目指してリニューアル整備を進めている府立丹後郷土資料館の、リニューアル後の新愛称及びロゴマークを決定しましたのでお知らせします。
■なお、リニューアルオープンは令和９年秋となる予定です。

１　新愛称

「丹後天橋立ミュージアム」（読み：たんごあまのはしだてミュージアム）

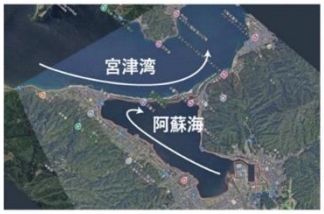
２　ロゴマーク

TANGO AMANOHASHIDATE MUSEUM

丹後天橋立ミュージアム

【ロゴコンセプト】

ミュージアムから望む天橋立の景観をモチーフとしています。展望デッキのシルエットを基調に、日本古来の流水紋を上下に配し、天橋立を取り巻く宮津湾と阿蘇海を象徴しています。この意匠は、地域文化の継承と人の往来が持続的に生まれる場としての姿勢を示すとともに、丹後の歴史・文化を核に、人や文化をつなぎ、内外へ開かれた交流拠点を目指すミュージアムの理念を体現しています。



天橋立を形作る宮津湾と阿蘇海の海流　©Google

【ロゴデザイナー】

榊原（さかきばら） 健祐（けんすけ）（Iroha Design）

グラフィックデザイナー／アートディレクター。東京を拠点に活動。文化施設、美術館、展覧会、VI 計画を中心に、グラフィックデザインおよびブランディングを手がける。JAGDA 会員。主な仕事に、「第 25 回 ICOM（国際博物館会議）京都大会 2019」ロゴタイプ、「文化庁『DOMANI・明日』展」（2020-23）アートディレクション、「旧富岡製糸場 西置繭所」展示サイン計画など。東京国立近代美術館、アーティゾン美術館、直島新美術館、兵庫県立美術館、福岡市美術館ほかと協働。主な受賞に、第 3 回ラッキーストライク・ジュニアデザイナーアワードグランプリ、日本空間デザイン賞金賞、東京 ADC、JAGDA、世界ポスタートリエンナーレトヤマ入選など。

（次頁あり）

３　新愛称及びロゴマーク決定経過について

丹後郷土資料館名誉館長の佐々木丞平（ささきじょうへい）氏を座長とする各分野の専門家で構成された「京都府立丹後郷土資料館再整備事業企画推進アドバイザリー会議」において検討を重ねられた意見をもとに決定しました。

４　スケジュール

令和９年秋　リニューアルオープン（予定）

＜参考：リニューアルの概要＞

- ▶ コンセプト：地域に受け継がれた『丹後の歴史』と『未来』との融合
- ▶ 歴史と重厚感ある本館は、存置しリノベーション
  ※本館（改修）：地下１階、地上２階建　延床面積 約 1,300 ㎡
- ▶ 天橋立を真正面から望める本館正面に新館を新設
  ※新館（新設）：地下１階、地上３階建　延床面積 約 1,900 ㎡
  ・外観は「丹後の未来が天橋立に向かって広がっていくさま」をイメージ
  ・国宝や重要文化財の随時公開が可能な「公開承認施設」に北近畿（京都北部・兵庫北部）で唯一対応
  ・新たな視点から天橋立を一望し、魅力を再発見できるホールとカフェを整備
- ▶ アートや食などジャンルや世代を超えて楽しめるコンテンツで地域の賑わいを創出

リニューアル後の外観イメージ（東南側）

外観イメージ（西南側）

エントランスでのロゴ表示イメージ

【本報道発表に関するお問合せ】

教育庁指導部文化財保護課	課長	石崎	TEL 075-414-5896
	参事	藤井	TEL 075-414-5909
総合政策環境部地域政策室	室長	吉田	TEL 075-414-4380
	企画参事	大野	TEL 075-414-4527